



# 鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

## 聖書の言葉

「あなたの庭で過ごす一日は千日にまさる恵みです」

聖書(詩編第84編11節)

牧師 河合裕志

この詩編の冒頭は次のように歌われている。「万軍の主よ、あなたのいますところはどれほど愛されていることでしょうか」。あなた(主・神)の「いますところ」とは主のいます庭であり、そこに立つ主の家・神殿を指している。

主は地上のどこにでも<sup>いま</sup>在す。不在の所はない。遍在の神。そうした中で主を礼拝する所・神殿には特別に豊かに在す。エルサレムに神殿を建てたソロモン王はこう祈った。「荘厳な神殿を いつの世にもとどまっていただけの聖所を わたしはあなたのために建てました」(列王記上8章13節)。主・神が「とどまっていただけの聖所・神殿」。ここで礼拝者は他のどこよりも主・神に親しく接することが出来る。ここに礼拝者が他の場所では味わえない大きな喜びがあった。次の文章はその喜びを物語っている。

「主の庭を慕って、わたしの魂は絶え入りそうです」「あなたの祭壇に、鳥(すずめのこと)は住みかを作り つばめは巣をかけて、<sup>ひな</sup>雛を置いています」「いかに幸いなことでしょうか。あなたの家に住むことができるなら」「ついに、シオン(エルサレム神殿の立つ丘)で神にまみえるでしょう」「あなたの庭で過ごす一日は千日にまさる恵みです」。

すずめ(ツイポール)やつばめが神殿に巣をかけ住みかを作っている。そこで安心・安全、休息所・避難所を得ている。この風景は弱さを持つ人間がその所において大きな安らぎに導かれることを物語っている。

そんなあなた・主の家にいつそのこと住みつくことが出来ればこんな幸いはない。しかしそこには祭司とか、ごく限られた人しか住めない。そこで今シオンを目指し巡礼の旅をする。神にまみえることを期待しつつ。主の庭、主の家で過ごす一日はよその所で過ごす千日にもまさる「恵み」(トープ)・よいことなんだ。そこで神に見え、<sup>まみ</sup>大きな喜びと平安と、新たな力を与えられるのだから。...

今エルサレムに神殿はない。今神殿はキリスト教の教会堂・礼拝堂として全世界に建てられこの地にも建立されている。この所においては主なる神と共にその独り子キリストが豊かに在し、神の愛とキリストの恵みを覚えて主の日・日曜日毎に礼拝賛美が捧げられている。千日にまさる恵みを味わっている。深い喜びと平安と力を受けている。愛する日本の国の人々、この地に住む人々が主の日にこの主の庭に、主の家に来られることを心より願っています。

### 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前10時

牧師面談：水曜日午後1時~7時